札沼線代替バスの運行概要（朱書き：前回からの変更部分）

項目	月形・当別線	月形・浦臼線
1 運行事業者	有限会社下段モータース バス事業者が異なるため、浦臼町内から当別町内など、月形市街地をまたぐ移動は、バスの乗り換えが必要	株式会社美唄自動車学校
2 運行開始日	令和2年4月1日	
3 便数	1日9往復18便	1日5往復10便
4 使用車両 【資料1-2参照】	「日野 ポンチョ」 「トヨタ ハイエース」 の2台を新規購入	「トヨタ ハイエース」 の1台を新規購入
	【主な装備】 <ul style="list-style-type: none"> ・簡易料金箱（両替は運転手手渡し対応）、車内放送設備、降車合図ボタン、手すりなど。 ・整理券機及び運賃表示器無し（運賃表を紙で貼付） ・<u>車内 WiFi を設置する予定。</u> ・<u>ボディ色及びラッピングイメージは別紙のとおり</u> ・<u>愛称について募集中</u> 	
5 運行ルート 及びバス停 箇所 【資料1-3、資料1-4参照】	主系統：25.9km 副系統：24.3km ※月形高校通学用に朝夕の各2便をショートカットの副系統を設定 ※ <u>「月形高校」と「林間住宅前」のバス停位置を確定</u>	主系統：19.5km 副系統：18.7km ※月形高校通学用に朝の1便を月形温泉を經由しない副系統を設定 ※ <u>「麦乾燥調製施設前」のバス停名称を「二線入口」に変更</u>
	バス停：24箇所	バス停：23箇所
	<ul style="list-style-type: none"> ・「月形駅」、「月形高校」、「月形役場」、「月形市街」の4箇所のバス停は、当別線と浦臼線の共通となることから1本のバス停を共有 ・待合所は、利用状況を踏まえて来年度以降検討 ・<u>来年度以降のバス停箇所の増について検討</u> 	
6 運行ダイヤ について 【資料1-5、1-6】	<ul style="list-style-type: none"> ・浦臼～当別間でのバス乗継、北海道医療大学駅でのJRへの乗継ができる限りスムーズになるよう時刻の設定 ・<u>※上りの医療大駅の到着が遅れないよう考慮し、バスの発着時間を5～10分程度の見直し</u> ・<u>※3月ダイヤ改正と廃線後のダイヤ改正に向けた調整</u> ・<u>※月形当別線の下り2便目の医療大学駅での乗継37分待ちは、廃線後のダイヤで解消できるようJR北海道で調整中</u> ・<u>※月形当別線の上り2便目は5月6日まで石狩当別駅での乗換え</u> ・<u>※代替バス定期券保有者のみに対する22時頃月形着の対応として、平日のみ月形町が夜間送迎（ハイヤー借上げ等）を料金無料で検討中。</u> 	

項目	月形・当別線	月形・浦臼線
7 国や道からの支援 【資料1-7参照】	<p>「地域間幹線系統補助」で申請済</p> <ul style="list-style-type: none"> 当別町を中心市町村に準ずる市町村として申請 国と道から運行費補助 R2年度(R1.10~R2.9): 7,590千円 R3年度(R2.10~R3.9): 15,138千円 R4年度(R3.10~R4.9): 15,138千円 国から車両減価償却費等補助 <p><u>※短縮ルートの設定などで今後、金額変更手続きを進める</u></p>	<p>「地域内フィーダー系統補助」で申請済</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域間幹線系統に接続する路線として申請 国から運行費補助 ※網計画策定後の初適用の年度で上乗せ額があるが、補助金の年度単位が10月~9月までであることから、代替バス運行開始4月からの適用では半年分(R2.4~R2.9)となるため、来年春に示される算定資料を踏まえて、初年度で満度にももらえるようR2年10月以降に初適用することも検討。 国から車両減価償却費等補助 <p><u>※バス停間の距離を精査した結果、6月に書面協議承認いただいた「地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書」の表1の系統距離を修正 往路: 19.0km⇒19.3km 復路: 19.2km⇒19.5km</u></p>
8 運賃	<ul style="list-style-type: none"> 大人の普通運賃については、前回協議会に提示。 今回、定期券等を含めて「協議運賃」として、3町での活性化協議会（又は地域公共交通会議）の承認を経て、別紙様式により、バス事業者が運輸局に申請する。 広報誌3月号に定期券申込書を挟み込みで配布するほか、ホームページに掲載するなど周知。 バス事業者が、月形高校生向けに、事前に申請書を受けた上で、入学式当日に現金と引き換えに定期券交付の対応を行う。 R2年度に、JR定期利用者に対して、<u>廃線区間</u>の代替バス定期との差額補償の手続きを進める。 <p><u>※廃線区間以外の差額については引き続き協議中。</u></p>	